

Q6

麻疹に対する免疫がない者が麻疹患者と接触したときの予防接種は、どうすればよいでしょうか？

A

今まで麻疹に罹ったことのない子どもが麻疹に罹っている子どもと遊んだり、兄弟のうち一人が麻疹に罹っている時は、ふつうは感染してしまいます。麻疹に罹っている子どもなどと接触した時期がはっきりしている場合には、72時間以内にワクチンを接種すると自然麻疹の発症を防ぐことが可能なこともあるといわれています。しかし、兄弟等が麻疹と診断された場合は、診断されたときに未感染の兄弟には既に感染して72時間以上過ぎていることが多いので、ワクチン接種は間に合わないことが少なくありません。このような場合には、6日以内であればガンマグロブリンの筋注で発症を防いだり、軽症化させることができる場合があります。しかし、ガンマグロブリンによる予防効果は一時的なものです。ガンマグロブリン筋注後、3カ月以上経過した後にワクチンを接種することが必要です。またガンマグロブリンを使用する時はヒト血液製剤であること、接種に際しては体重1 kgあたり0.33mL程度の量を筋肉内に注射する必要があるため、かなりの疼痛を伴うという認識のもとに使用すべきです。